

交通政策審議会観光分科会 第34回 議事概要

1. 日程

平成30年4月20日（金）15時30分～17時30分

2. 場所

国土交通省 11階 特別会議室

3. 出席者

秋田委員、奥委員、恩藏委員、木場委員、篠原委員、竹内委員、伊達委員、田中委員、野田委員、マリクリスティーヌ委員、矢ヶ崎委員、山内委員

国土交通省：

観光庁、総合政策局、鉄道局、自動車局、海事局、港湾局、航空局

4. 議題

- ・平成30年版観光白書について
- ・国際観光旅客税について
- ・国際観光振興法について

5. 議事概要

観光庁より議題について、資料に沿って説明。その後、委員による意見交換を実施。主な意見は以下のとおり。

-
- ✓ 富裕層の取り込むための受け皿が不足。インバウンドの質の追求の面からも5つ星ホテルの数の数値目標をたててしっかり取り組むべき。
 - ✓ 国際旅行収支黒字化を単純に喜んでいいものか。アウトバンド、日本人国内旅行をどう増やすかも考える必要がある。アウトバンドは観光目的だけでなく、留学等他の目的も含んで考えるべきだ。文科省も交えて議論してほしい。インバウンドしかやらないJNTOを改組して対応すべき。
 - ✓ 外国人延べ宿泊者数の国籍別シェアの図表は運輸局単位だけでなく、都道府県別のデータも載せるべき。
 - ✓ インバウンドの増加したことによる犯罪件数の増加にも触れて欲しい。
 - ✓ インバウンド数の多い中国は60歳以上の人口が2億人を超えている。シニアケアなど受入れ整備が十分にできていないことを指摘。
 - ✓ お金を使いやすい環境整備が必要。JRでは券売機や駅構内でのATMで海外のク

- レジットカードが使用できない。
- ✓ 大型のスーツケースを預けられる車内ロッカーが不足していることにより、誰かが荷物番をする必要があるため行動が制限される。
 - ✓ 海外では（ドラマの影響もあり）姫路城が最も有名な城の一つだが、姫路駅に停車する新幹線は1時間に1本である。お金をつかいたくてもつかえない環境である。
 - ✓ ラブホテルについて一切触れられていない。海外の大手宿泊予約サイトでは多数掲載されていることを触れなくてよいのか。
 - ✓ 課題の頭出しをした方がいいのでは。1人当たり旅行支出が伸びていないが、単価を伸ばす目標とそれに向けた計画を立てて実行することが重要。例えば、神社仏閣や美術館などの入場料は単価が低い、付加価値をあげ単価をあげることなど。
 - ✓ 2次交通におけるストレス解消も課題。
 - ✓ 人不足対策。地方の方がより深刻であるので対策が必要。
 - ✓ 業種別の消費額と投資の伸び率と比較して、投資の伸びが小さいのであれば、もっと投資するよう促すべき。
 - ✓ 宿泊施設タイプ別の稼働率が、ホテルはシティホテル・ビジネスホテルなどわかれているのに旅館はひとくくりでいいのか。
 - ✓ 5つ星ホテルの不足は高級旅館で補えるのではないのか。
 - ✓ ドイツでは「インバウンド」という単語がネガティブな印象を与えるほど、インバウンドの犯罪が問題になっている。日本のインバウンドが不法滞在になっていたりしないのか。
 - ✓ 留学生はどういう扱いになっているか。
 - ✓ 旅館の定義を設けてはどうか。内容としては地産地消などの要件を設けてアピールする必要がある。
 - ✓ 旅館の実態を知ることが重要。
 - ✓ 県別・地域別によって波及効果が出ればよい。
 - ✓ 7割が越境 EC で日本製品を購入し、そのうち4割が訪日きっかけということは、回答者のうち、約3割が訪日経験者という理解で間違いはないか。
 - ✓ 景気回復の判断理由 2.8%というのは低いともとれる。むしろ、インバウンド消費とDI の関係を検証した図表を強調してはどうか。
 - ✓ 地方部での伸びの分析を追加してほしい。
 - ✓ 2020年までに消費額 20万円を目指しているところ、現在 15万円と5万円不足している、という説明はわかりやすかった。こういった形で目標と現状をわかりやすく示すべき。
 - ✓ 訪日のリピート目的は、「温泉」が1番多い。旅館の稼働率が低い点と紐付け

て考えては。(リーズナブルな旅館を発信するとか)

- ✓ 訪日客が空港でスーツケースが一杯でお土産を置いて帰る事例がある。空港では、1,000 円払えば OK と案内しているが、それでも置いて帰ってしまうようだ。
- ✓ 各地域における取組内容が単調。「なぜ」という面が弱い。施策との因果関係(地域の分析)を記載してはどうか。
- ✓ もう一步踏み込んで、交流人口→定住人口の流れを作ってはどうか。
- ✓ 産業としての観光を推進する意義(海外シフトがない、他産業活性化等)、どういう特性があるのかに触れてはどうか。
- ✓ 地域的偏在を是正するなど課題についても触れるべき。英国の訪英数の5割はロンドンであり、先進国でも放置すると偏るということにも触れてはどうか。
- ✓ 爆買いがなくなり、「モノ」から「コト」消費に変わったというが、実態としては、転売目的ではなく、個人の買物消費に移行している。
- ✓ 中国は「観光大国より、観光強国」として、アウトバンドを外交手段として使用している側面がある。政治的要因で急減するリスクに触れるべき。
- ✓ 日本はキャッシュレス化2割と低い。キャッシュレスを進める施策が必要。韓国では補助金を出したことによりキャッシュレスが7割まで普及した。
- ✓ 単価を上げることもだが、滞在日数を増やすことも重要。
- ✓ 投資について、海外からの対日投資の把握はできないか。